



ライティングを指導する教員のためのハンドブック

はじめに

本ハンドブックの目的は、主に学生のライティングに関する知識・スキルの向上に資する授業をおこなうことができるように各教員を補助することです。対象読者として、ライティング教育に直接関わる科目や論文指導を担当している教員だけでなく、一般教育や専門教育の中でレポートなどのライティング課題を用いる教員を想定しています。とくに、ライティング課題をどのように授業の学習課題と連動した形で設計するのか、ライティング課題をどのように評価するのかといった、授業とライティング教育を一体化させるための知見を提供することを本ハンドブックは目指しています。

本ハンドブックは3部構成であり、第1部「大学ライティング教育の目的」では、教員にとって有益だと考えられる大学ライティング教育の背景や目的についての知見を紹介します。第2部「ライティング課題の設計」では、学習目標と連動した形でライティング課題を作成するためのさまざまな方法を紹介します。第3部「ライティング課題の評価とフィードバック」では、ライティング課題の評価基準をどのように設定するのか、適切なフィードバックをどのように与えるのかを解説します。

本ハンドブックの内容は、大学ライティング教育についての多くの理論的・実証的な研究に依拠していますが、日本ではそうした研究が現状ではまだ少ないため、英語圏での研究を主に参照しています。このため、本ガイドブックは、ライティング教育の補助資料としてだけでなく、英語圏の大学ライティング教育研究の紹介としても読むことができます。

〈執筆者 笠木雅史〉